

## 2020 年 IEA 総会報告書（一般用）

令和 2 年 7 月 14 日

### IEA の概要

IEA（International Engineering Alliance 国際エンジニアリング連合）は国際的工学教育プログラム認定の 3 協定（ワシントン協定、シドニー協定、ダブリン協定）と国際技術者資格の 4 協定〔APECEA（APEC エンジニア協定）、IPEA（国際エンジニア協定）、IETA（国際テクノロジスト協定）、AIET（国際テクニシャン協定）〕を束ねる国際協議の場で、技術者の国際流動性を視野に、技術者教育と資格の国際同等性の確保を目的とした活動を行っている。

### 参加報告

2020 年の IEA 総会は、南アフリカケープタウンで開催予定であったが、新型コロナの影響で、6 月 21 日（日）から 6 月 26 日（金）に亘ってウェブ会議にて開催された。日本サイドとして参加したのは、6 月 24 日の IPEA Closed Session、6 月 25 日の APEC Closed Session、6 月 26 日の Forum Proposal on Agreement Changes と Closing Webinar であった（いずれもユニバーサルタイム、日本との時差は+9 時間）。

日本からは、IPEA/APEC Closing Session は参加者が 2 名に限られたため、岸本先生（APEC エンジニア・モニタリング委員会会長、IPEA モニタリング委員会委員長）、雑賀日本技術士会国際委員会第二小委員長が代表して参加。

主要な議論は以下のとおり。

- ① IPEA では、スリランカと豪州の正式メンバーステータスの 6 年の延長が認められたがカナダは認められなかった。シンガポールより、更なる 2 年間の暫定延長の申請があり認められた。また、オランダとバングラの正式メンバーへの昇格は認められず、2 年間の暫定メンバーの延長に留まった。
- ② APEC では、豪州の 6 年間の延長とシンガポールの 2 年間の暫定延長が IPEA 同様認められた。カナダは、IPEA において指摘されたことについて追加的なプレゼンを行った結果、6 年間の延長を認めてはとの議論があったが、投票の結果、2/3 の賛同を得られず（2/3 のカウントの仕方にも議論あり）、結果、特別セッションを開催し再度議論することになった。また、タイからの conditional ステータスへの格下げ要望、及び、PNG の暫定メンバーへの参加が認められた。
- ③ Forum Proposal on Agreement changes に関しては、協定本体の個々の条項について変更案と変更理由の説明があり、議論が交わされたが、変更案への同意、不同意については 30 日以内にメールで投票を行うことになっている。
- ④ Closing Webinar において、来年の IEA 総会は 6 月 20～25 日にアイルランドの Killarney で開催、2022 年の総会は南アフリカ Cape Town での開催との説明があった。

—以 上—